

ALSOK *REPORT* 2021

[2021年3月期]

綜警憲章

経営理念

我が社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

経営指針

1. 経営の基本精神

何事にも、常に感謝の心を忘れない「ありがとうの心」と、強く、正しく、温かい、「武士の精神」をもって取り組むとともに、社徳のある会社を確立する。

2. 経営の優先順位

お客様に対して最高のサービス・商品を提供することを最優先とし、併せて社員にとって働きがいのある会社の実現に努めるとともに、収益の拡大を通じて株主の期待に応える。

3. 経営の基本戦略

常に変化する時代のニーズに適うべく、警備業を中核としつつ、新たな分野におけるサービス・商品を幅広く提供する。

4. 社会・公共への貢献

安全・安心に関する公の施策に協力し、社会の発展に貢献するサービスの展開と商品の開発を行う。

行動規範

- 1.我々は、常に「ありがとうの心」を基本におき、お客様へのサービスに誠心誠意、最善を尽くします。
- 2.我々は、強く、正しく、温かい、「武士の精神」を体現し、いかなる困難にも正々堂々と立ち向かい、一丸となって目標を達成します。
- 3.我々は、独立自尊の「野鳥精神」をもって、自ら考えて仕事に取り組み、自らの責任で必ず成果を出します。
- 4.我々は、「誠実、正確、強力、迅速」をモットーに行動します。
- 5.我々は、現状に甘んじることなく、仕事の質の向上と収益の拡大に向けて常に変革を求め、挑戦し続けます。
- 6.我々は、真のリーディングカンパニーにふさわしい人材となるべく、コンプライアンスの意識を高く持つとともに、日々、自己研さんに努めます。

ALSOKの4つのモットー 誠実・正確・強力・迅速 創業者が描いた警備会社の理想像

誠実

太陽…「誠実」をあらわす。

- ・警備会社の生命
- ・契約先の生命、財産を守るという重大使命を持つ

正確

棒…「正確」をあらわす。

- ・プロの警備は正確であまいな警備は許されない



社章

強力

鷲…「強力」をあらわす。

- ・強い精神力

迅速

月桂樹…「迅速」オリンピックの勇者をあらわす。

- ・警備は常に迅速でなければならなく、警備の根本

ALSOKが社会に提供すべき価値

はじめに、今般の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、感染された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ALSOKは、創業者が1964年の東京オリンピックで大会運営に深く関わったことをきっかけに、翌1965年に誕生しました。創業時の理念「ありがとうの心」と「武士の精神」を経営の基本精神に掲げ、お客様と社会の安全の確保のため日々努力してまいりました。この精神は会社が年月を重ねてもなお揺らぐことなく継承すべき原点であるとして、全従業員に脈々と受け継がれ、今日にいたるまでグループ全体でその理想を追求し続けております。

近年は、子ども、高齢者などを狙った犯罪、サイバー犯罪や情報漏えい、激甚化する自然災害、伝染病・感染症の世界的流行など、社会を取り巻くリスクが多様化しています。私たちは、安全を支える社会インフラの一翼を担う企業として、これらの社会的課題の解決に事業を通じて貢献し、持続可能な企業価値の創造に努め、社会に暮らす人々の安心をより確かなものとしていきます。

代表取締役会長
最高経営責任者(CEO) **村井 温**

今年はついに東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。ALSOKは創業の理念を胸に刻み、大会警備JV(共同企業体)の代表としての責務を果たし、「安全・安心」な大会の実現に全力で貢献することができました。この大会で成し遂げた経験をこれからも一層磨き上げ、皆様に提供し続けてまいります。



※ALSOKは、東京2020オフィシャルパートナー(セキュリティサービス&プランニング)です。

CONTENTS

Overview・Vision

01

綜警憲章／ALSOKの4つのモットー

02

会長メッセージ

03

社長対談

07

ALSOKの価値創造の歩み

09

財務・非財務ハイライト

11

ALSOKの事業概況

15

ALSOKの商品・サービス一覧

17

ALSOKの価値創造モデル

19

中期経営計画(Grand Design 2025)

23

ALSOKの強み

25

社会的課題の解決に貢献する商品・サービスの提供

27

ALSOKの研究開発

29

品質向上への取り組み

31

人材育成・活躍への取り組み

サステナビリティ・ESG	33	持続可能な社会の実現のために
	35	サステナビリティ・CSRマネジメント
	37	地球環境への配慮
	39	地域貢献活動
	41	コーポレート・ガバナンス
	45	取締役、監査役および執行役員

Financial Information	49	財務セクション
	54	会社情報/株式情報/編集方針

CROSS TALK

代表取締役社長 最高執行責任者(COO)

青山 幸恭

新潟県立大学 教授

中島 厚志氏

ALSOKが未来に必要とされる企業であるために

2021年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大はとどまる様子がありません。コロナの影響が長引く中、経済の正常化に向けて主要国では従来の封じ込め策の見直しも始まっています。行動規制の緩和とポストコロナ※1対策に焦点がシフトする中、ALSOKはどういう方向に向かうべきなのか。昨年に引き続き新潟県立大学教授の中島厚志様にご意見をいただきました。

Theme1

コロナと共存するニューノーマルな社会において ALSOKが向かうべき方向とは

中島教授(以下中島)：新型コロナウイルス感染症はいまだ収まる様子がありません。ただ、デルタ株などの変異株も出てきていますが、主要国では従来のコロナ封じ込め策を見直す動きに変わってきました。ワクチンパスポートや医療関係者へのワクチン接種義務化などによって、これまで同様の防疫対策を維持しつつ、行動規制を緩和しているのです。長期的にコロナは完全終息しにくいという判断で、経済との共存を図る方向に舵を切ったわけです。そうすることで欧米では景気の回復が続いています。

そのような中、今年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。開催については賛否両論ありましたが、今回、日本が万難を排し、コロナに負けず開催したことは素晴らしいという見方がありました。コロナとの厳しい戦いの最中のオリンピック開催で、無観客や関係者への徹底し

たPCR検査などでの開催とせざるを得ず、開催前は日本国内で感染が広がるなどの懸念もあったと思います。しかし、それなりに上手く感染リスクを回避できたのではないかと思います。そして、そこにはALSOKのご尽力もあったのではないかと思います。いかがでしょうか。

青山：感染リスクを排除しつつ、どうやってこの大規模イベントを警備の面で安全安心に運営するかが重要なテーマでした。紆余曲折はあったと思いますが、結果的にバブル方式※2を含め、上手くいったのではないのでしょうか。大会警備にあたっては多くの警備員が必要となることから、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会警備共同企業体(警備JV)を組成、当社は共同代表を務めました。警備JVへは全国から553社の警備会社が加入、延べ約47万人が動員されましたが、大きなトラブルもなく終えられたのは警備業界全体の連帯感があった

※1 ポストコロナ…世界的なコロナ感染拡大を境に価値観や行動様式の転換が起き、社会に定着する期間

※2 バブル方式…選手や関係者の移動・滞在を一定の空間に限定し、外部との接触を極力避ける感染対策方法

※ALSOKは、東京2020オフィシャルパートナー(セキュリティサービス&プランニング)です。

ためと理解しています。今後は、経済との共存を図るという意味で日本でも行動規制の緩和が進むと思われますが、コロナ禍での東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の経験をレガシーとして、企業や個人の自己防衛にどう活かしているのか、議論のしどころだと思います。

中島:ポストコロナに向けての話は、日本より欧米の方が先に出ています。三密を避けることや非対面の推奨もありますが、ウィズコロナ時代においては、さらにデジタル対応の拡大について議論し、それを踏まえて前進することが必要になるだろうと思います。

青山:変異株が確認されたこともあり、当社もコロナと共存して経済活動を回していくことについて何ができるか、昨年からずっと模索しておりました。コロナ禍の中、お客様にとって最大の安全・安心はコロナにかからないようにすることです。そのために我々はどういうお手伝いができるのだろうか、という

議論をこれまで行ってきました。実際、サーモカメラや光触媒等空気清浄滅菌装置、PCR検査キットなどのコロナ関連商材の提供に加え、全国の軽症者収容施設やワクチン接種会場の警備等、各種サポートなどもさせていただいています。

警備事業やビルメンテナンスの世界は、どちらかというとリアルな世界でなかなかデジタル化になりにくい部分ではありますが、当社では機械警備システム「ALSOK-G7」に二酸化炭素濃度を測定する環境センサーを連動させ換気をお知らせする「換気促進ソリューション」や店舗や施設の混雑状況を、カメラ画像を利用して手軽に施設ホームページやデジタルサイネージへ配信できる「ALSOK混雑状況配信サービス」の展開、オンライン商談などの非対面営業の推進やリモート教育の拡充、効率的な工事の提供などを進めてきました。引き続き、私どもが提供する商品・サービスについても、カスタムメイドに変えていきます。

Theme2

ポストコロナ時代に対応するため 警備業を変える“創造的破壊”※3とは

中島:今後はデジタル経済化・グリーン経済化にさらに弾みがついていきます。

経済のデジタル化では、日本は出遅れている印象がありますが、欧米はデジタルトランスフォーメーションを加速させています。中でもEUはGAIA-X※4という、EU共通のデジタル経済のプラットフォームづくりを進めています。あらゆるデータを全部同じフォーマットで載せることが可能で、グーグルなどの民間企業に依存することなくビッグデータを最大限活用できるプラットフォームにしようとしています。もはや個別のデジタル技術で争うのではなく、GAIA-Xを構築することでデジタル経済時代のゲームチェンジャーになろうという発想です。

一方、グリーン経済化では、日本も含めた主要国が、予想以上に進む地球温暖化へ対応すべく、21世紀の後半としていたゼロエミッションを2050年に繰り上げています。

青山:これまで57年間やってきた警備の世界には古めかしい部分がたくさんありますが、これを革新的に変えていかなくてはなりません。そのためのキーワードは、やはりデジタルであり、安全・安心であり、グリーンだと思います。テレワークやリモートの普及によるサイバーセキュリティニーズの高まり、キャッシュレスの拡大やデジタル通貨導入の議論。当社を取り巻く環境は大きく変化しています。このような変化に対して、当社は、警備、ファシリティマネジメント、介護の各事業について、お客

様単位でお客様の立場に立って需要を創出し、新しい見地での安全安心サービスを提供すべく、警備サービスを核として、「警備の範疇を超えて顧客の安全安心を供与するサービス」として、新たに定義し直し事業転換を図っているところです。

中島:今回のパンデミックは自然災害です。確かに具体的な機器の損壊は起きていませんが、機器を使う私たちの考え方や生活、或いは社会の在り方が棄損されているのは事実です。それを乗り越えることができれば、それこそ創造的破壊につながると思います。

デジタルトランスフォーメーションにしても、個別のデジタル技術や導入率・装備率を競うのではなく、まったく新しい局面で生まれる社会ニーズが、新たに生まれてきた技術でがらりと変わる。そういうことが今、進み始めているという気がしています。ALSOKはアーキテクチャ的な発想でサービスを提供しており、大きな変化を急速に生み出すのではないかと期待しています。

青山:今後、デジタルやグリーン化の流れの中、新たな業態や仕組み、サービスが生み出され、お客様の安全・安心を守るために、我々がお手伝いできる対象が大きく広がっていきます。そして、デジタル化やグリーン化がどんなに進もうとも、最終的には、人によるサービスが、地域社会の安全・安心を守ることになります。当社は様々な形でこれらの動きをサポートしていきます。

※3 創造的破壊…経済学者ヨーゼフ・シュンペーターが提唱した、新しい効率的な設備や方法が古い非効率的な設備や方法を排して、これによって代わることが経済発展につながる考え方

※4 GAIA-X…ドイツ政府とフランス政府が発表した、セキュリティとデータ主権を保護しつつ、データ流通を支援するためのインフラ構想

※ALSOKは、東京2020オフィシャルパートナー(セキュリティサービス&プランニング)です。

社長対談

Theme3

安全・安心に対する社会の多様なニーズに対応するために

中島:ポストコロナと同時に、ウィズコロナでもニューノーマルを踏まえてどう確実に前進するか、ということになるのかなと思いますが、いかがでしょうか。

青山: 今期新たに策定した「GD2025（中期経営計画：2021－2025年度）」では、ポストコロナやウィズコロナを見据えた5年間でALSOKが目指す姿を描きました。その中で当社を取り巻く顧客や社会の変化は、感染症や地球温暖化、エネルギー問題などの「グローバルな問題」、少子高齢化や格差拡大といった「我が国を巡る問題」、そしてAIやIoT、5G、6Gなどの「先端技術の進展」の3つがあると認識しています。それに加えて2030年までのSDGsの実現や温室効果ガスの46%削減（2013年度比）もありますし、2050年にはカーボンニュートラルを目指さなくてはなりません。

私たちは警備ビジネスモデルの変革を推進しながら、強靱な総合安全・安心サービス業を目指そうとしております。これまでの警備、ファシリティマネジメントや介護で培ってきた内外インフラを強化し、多様なサービス機能を融合させて新しいソリューションを創ることが必要と考えています。また、産学連携や他企業とのアライアンスによるオープンイノベーションなど、今まで取り組んでいることもあります。我々に近い企業の方々とともに、マーケット別にどのような商品・サービスを提供できるかなど進化させ、それぞれのお客様のリスクに適した対応を強化し、警備業を中核にさらに新しい業務領域を広げていきたいと考えます。このように、お客様と日々接する場面にあった具体的なソリューションを提供し続けることで、次世

代においても必要とされる価値ある企業であり続けることを目指していきます。

そして、社員が活躍できる環境の構築も非常に大切だと思っています。今は多様な働き方に対する議論から始めていますが、人が一番大事ということを徹底し、様々な形で人材育成を進めていきたいと思います。

中島: “警備業は人が中心”と青山社長は仰っていますが、人こそ最大の財産だと思います。パンデミック対応にしても、創造的破壊にしても、きっちり成し遂げていくには最後は人です。過去20年間で日本企業全体の経常利益は1.5倍になりましたが、一人当たりの平均賃金は1割落ちて0.9倍になっています。人材投資を増やさないと企業の価値を上げるのは、やはり無理があるのではないのでしょうか。資源が乏しい日本の潜在力を活かすためにも、人材力の向上は最後の経済成長力ではないかと思います。

青山: そうですね。そのためにも人材の多様化・能力開発を今まで以上に進めたいと思っています。警備（機械・常駐・警送）・FM、介護関係の担い手となる社員の働き甲斐対策とあわせて、これらのサービスの生産性向上を図るべく、採用、教育研修での人材育成を図り、グローバルに展開していきます。また、サステナビリティへの取り組みも強化したいと思います。当社の経営理念である「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進することの具体例が、まさにSDGsの中身であると思っています。特に環境問題に関しては、人類共通の課題であるという認識を持ち、「温室効果ガスの削減」「循環型



青山 幸恭

Profile

1975年 3月	東京大学 法学部 卒業
1975年 4月	大蔵省（現財務省）入省
1980年	潮来税務署長
1992年 7月	オックスフォード大学客員研究員
1993年 7月	大臣官房企画官 兼 大臣官房調査企画課
1994年 7月	東京国税局査察部長
1995年 8月	和歌山県警察本部長
2000年 6月	環境庁企画調整局企画調整課長
2002年 7月	横浜税関長
2003年 7月	大臣官房参事官 兼 大臣官房審議官（関税局担当）
2005年12月	兼 東京大学客員教授
2006年 7月	関税局長
2008年 7月	退官
2008年 8月	総合警備保障株式会社 入社 常務執行役員に就任
2009年 6月	同社 代表取締役、専務執行役員に就任
2010年 4月	同社 代表取締役副社長に就任
2012年 4月	同社 代表取締役社長に就任 現在に至る

経済社会」「生物多様性」の3つの視点からカーボンニュートラルや循環経済の実現に貢献していきます。

中島:警備を介して安全・安心の融合サービスを提供する警備業は、ポストコロナ時代において「21世紀の成長産業」だと思います。次に何をやるのか一歩ずつ足元を固め、それを確実にこなしていくことが成長につながります。ALSOKは先陣を切ってそのような歩みをしており、大変心強く感じます。

対談を終えて

新型コロナウイルス感染症を乗り越えて

新型コロナウイルス感染症がパンデミック状態になって2年弱。お客様に「強靱な総合安全安心サービス」を提供する立場のALSOKはコロナ禍に在ってもその使命は揺らぐことなく日々地道な内外現場での努力を続けています。

1年延期の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、デルタ株による急速な感染者数の増加の中、関係当局のご努力で無事やり遂げることが出来ました。警備に在っては警備JV553社が一体となって同じ方向に進んでいたことは感無量でしたが、無観客とはいえ、この大会の成功は様々な大会関係者(私共では警備と設備管理関係)の血と汗の結晶であり、この結果を踏まえて中島教授と今後のALSOKの方向性を新たに確認すべく昨年に引き続きこの対談を設けた次第です。

中島教授のご指摘の通り、ポストコロナに向けては欧米の方が既に先に進んでおり、DXの加速=経済のデジタル化については、コロナ禍におけるリモートワークの推進やデジタル庁の2021年9月創設を含め、ようやくその具体化が図られたところです。また経済のグリーン化についてはようやく日本も本腰を入れ、COP26においても表明されている2050年カーボンニュートラル、2030年▲46%を掲げてエネルギー政策その他を展開しようとしており、我が国の各業界は正に待ったなしの状況です。

青山:コロナをきっかけに当社を取り巻く環境も大きく変わっていきます。時代の変化に伴って拡大する多様な安全・安心ニーズに対して、常にお客様に寄り添い、先を見据え、スピード感をもってお応えしていく必要があります。足元を固めつつ、社員一丸となって、着実に歩を進め、私どもの目指す姿「強靱な総合安全安心サービス業」を目指してまいります。本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。

弊社は1965年に創業しましたが、当時の内外社会経済状況と21世紀の現在の状況とは大きく異なります。少子高齢社会の急速な進展と我が国の人口構成の大幅な変貌、人手不足、地方の過疎化と大都市集中、資源・環境制約という状況の大きな変化にあつて、我が国経済力自体の低下と企業の競争力の変化が見られ、AI活用や5G、6Gへの移行等技術面での大きな変革のうねりの真只中にあります。国際情勢では、冷戦の終結から地域統合のマルチ経済体制、さらには逆に地域主義の動きとイスラム原理主義の再来、さらにはテロの拡散、中国の台頭と米中対立という国際情勢の大変革期でのコロナパンデミックの勃発。このようなときにこそ、シュンペーターの「創造的破壊」がウィズコロナ、ポストコロナの時代に知らず知らずの間に進み、私共がその先兵としてSDGsのプラトフォーマーとしての役割を多少なりとも果たしていければと思っております。教授のお話にある通り、人を大事にするALSOKグループの人財投資を積極的に進め、2020年代の我が国はもとよりアジア諸国での安全安心サービスを着実に提供することによりその評価を高めたいと思っております。

代表取締役社長 青山 幸恭

中島 厚志氏

Profile	1975年 3月	東京大学 法学部 卒業
	1975年 4月	株式会社日本興業銀行入行
	1987年 8月	調査部主任部員
	1992年 4月	国際営業第一部課長
	1995年 5月	産業調査部 主任部員、同副部長
	1997年 6月	パリ支店 副支店長、同支店長
	1999年 10月	パリ興銀 社長
	2000年 6月	調査部長
	2002年4月~2003年3月	みずほ総合研究所執行役員 調査本部副本部長 兼みずほコーポレート銀行調査部長
	2003年3月~2004年3月	みずほコーポレート銀行執行役員調査部長 兼みずほ総合研究所執行役員 調査本部副本部長
	2004年4月~2011年3月	みずほ総合研究所(株)専務執行役員、調査本部部長
	2011年 4月	独立行政法人経済産業研究所理事長
	2020年 4月	新潟県立大学教授、 独立行政法人経済産業研究所コンサルティングフェローを兼職
	2020年 6月	公益財団法人日仏会館理事長を兼職

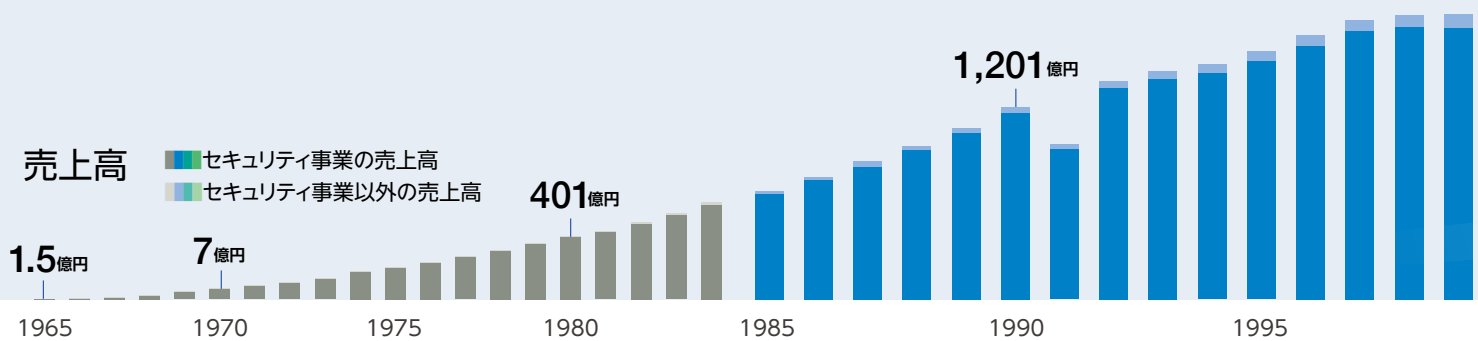


※ALSOKは、東京2020オフィシャルパートナー(セキュリティサービス&プランニング)です。

ALSOKの価値創造の歩み

先進的なチャレンジと独創性を発揮して、社会的課題を解決

ALSOKは、創業以来、「安全・安心」な社会の実現を目指してきました。半世紀におよぶ歴史のなかで、警備の技術やサービスの品質、人材の教育を追求し、そしてそれらを強みとして歩んできました。これからも先進的なチャレンジと独創性を発揮して、社会的課題を解決していきます。



1965～

創業の時代



1965年

警備請負業を主たる事業目的として
総合警備保障㈱を
設立



1966年

警備輸送業務の開始



1967年

法人向け機械警備「総合ガードシステム®」
を開発、発売



1970年

日本万国博覧会の常駐警備を実施



1975年

常駐警備に設備制御・監視ができる設備を
併用した「オルムシステム®」を開発、発売

1985～

守成の時代



1988年

一般家庭向け機械警備「タク
ルス®」を開発、発売



1995年

都内の機械警備の一元的な集中監視と指令業務
を行う東京指令センターを運用開始



1997年

従来のCD機に加え収納代行、情報検索機能等を
搭載した多機能型ATM「MMK®」を開発、発売



1997年

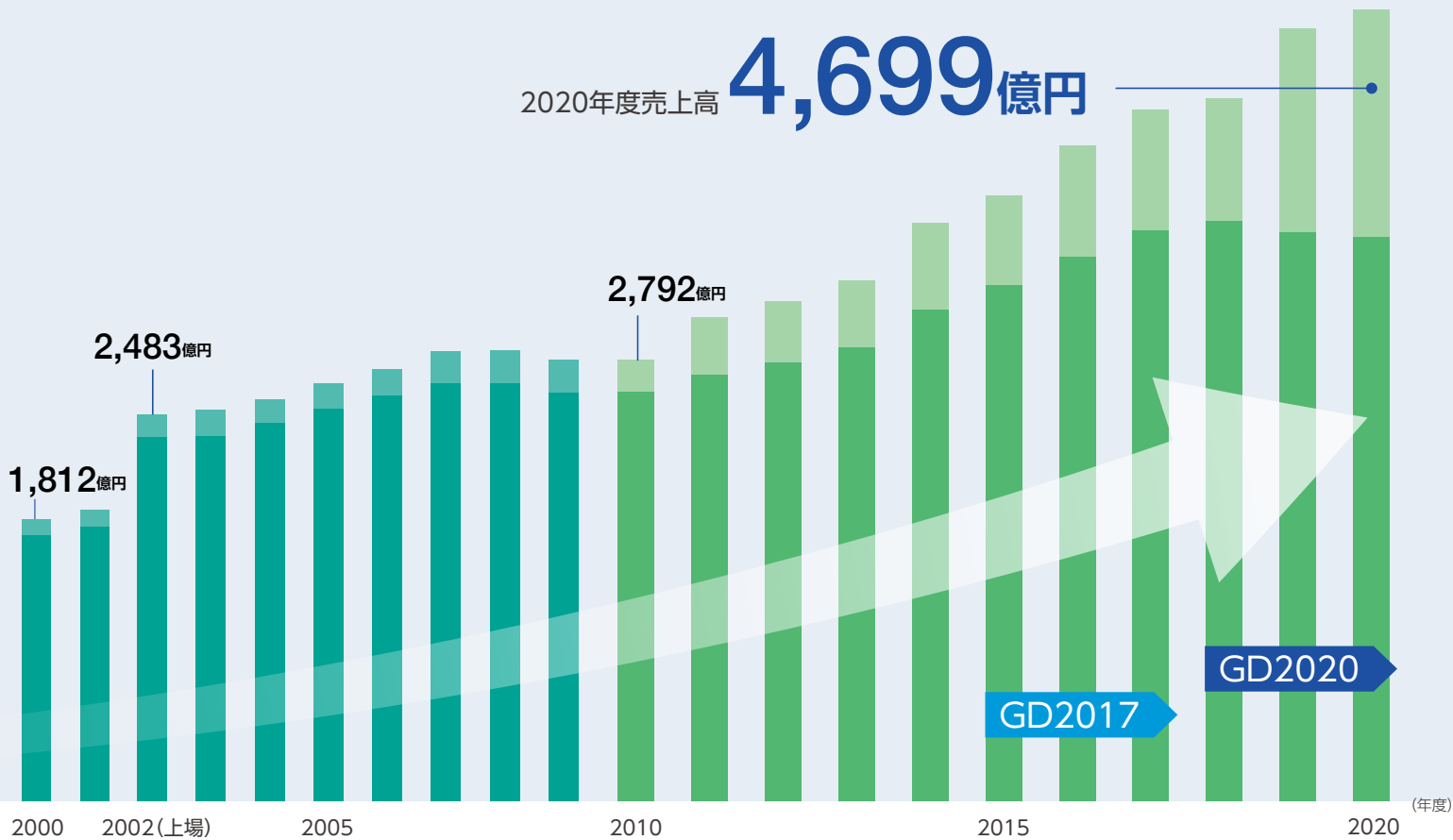
売上金や釣銭の流れを円滑化し、現金処理に係る
要因の省力化・設備コストの削減に効果を発揮す
る「入金機オンラインシステム」を開発、発売



1998年

一般家庭向けに、防犯・防
災警備のほか救急情報、
ホームバンキング、健康相
談などの生活便利機能を備
えた「SOKホームセキュリ
ティ」を開発、発売

2020年度売上高 **4,699億円**



1999~

第二の創業の時代



2002年

東京証券取引所市場第一部に株式を上場



2003年

新コーポレートブランド「ALSO K」を制定



2005年

子どもたちの安全を守るために、守りのプロである当社社員を講師として派遣する「ALSO Kあんしん教室®」を全国展開



2005年

ロボットを用いた常駐警備システムを可能とする新型巡回警備ロボットを開発、発売



2005年

大型住宅向けに機能を拡充させた「ALSO KホームセキュリティX7」を開発、発売



2008年

インターネット警備サービスの標準化など、お客様視点で発想した「安心・便利」な機能を強化した「ALSO Kホームセキュリティα」を開発、発売

2010~

第三の創業の時代



2012年

個人向けブランド「HOME ALSO K」立ち上げ



2013年

高齢者向け緊急通報・相談サービス「HOME ALSO K みまもりサポート®」を販売開始



2015年

店舗で利用する釣銭を出金・両替し、売上金を銀行へ持ち込むことなく入金できる「入出金機オンラインシステム」を開発、発売



2020年

「HOME ALSO K みまもりサポート®」リニューアル発売



2020年

法人企業向けセキュリティシステム「ALSO K-G7(ジーセブン)」を販売開始

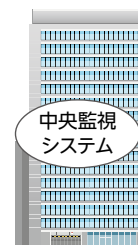
2020年

三菱商事との資本業務提携を機に「中央監視盤」の取り扱い開始

出入管理

電力監視

照明制御



中央監視システム

セキュリティ

消防設備

空調制御

財務・非財務ハイライト

売上高

4,699億円

前期比 2.1%増 ↑

親会社株主に帰属する当期純利益

250億円

前期比 3.5%増 ↑

経常利益

392億円

前期比 0.9%増 ↑

配当性向

29.1%

前期比 0.2p減 ↓

ROE

9.6%

前期末比 0.5p減 ↓

設備投資額/減価償却費

設備投資額 136億円

減価償却費 158億円

ROA

8.6%

前期末比 0.7p減 ↓

機械警備契約件数 法人/個人

法人
540,410件

個人
449,745件

E

Environment

CO₂排出量 売上高原単位(グループ)*

0.177 t-CO₂/百万円

前期比 0.3%増 ↑

CO₂排出量(グループ)*

83,302 t-CO₂/4,699 億円

前期比 2.5%増 ↑

売上高

燃料使用量(グループ)

16,942 kl

電力使用量(グループ)

66,260 千kWh



S

Social



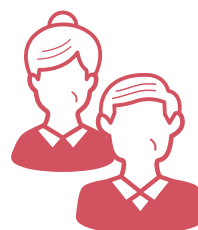
従業員数(連結)

38,444人

女性従業員数
(連結)

5,465人

前期末比
8.93%増 ↑



介護施設入居者数

約6,200人

介護サービス等利用者数

約21,400人

女性管理職比率(単体)

4.0%



救急救命講習修了者数

延べ
20,434人
(普通・上級含む)



ALSOKあんしん教室®参加人数

累計
163.3万人

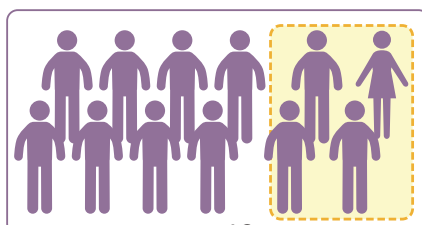


G

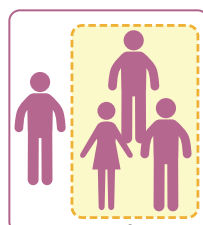
Governance

取締役・
監査役

16人



取締役12人
(うち社外取締役4人)



監査役4人
(うち社外監査役3人)

内部通報制度
グループ会社利用数

73社



ISO27001 (ISMS) 認証
取得グループ会社数

19社



取締役会出席率

100%



法令違反件数

0件



※グループのCO₂排出量は、単体の排出量をもとに算出しています。将来、集計方法・集計範囲の見直しにより、報告の値が変更となる可能性があります。

ALSOKの事業概況

警備ビジネスモデルの変革

サービス領域を拡大し、強靱な「総合安全安心サービス業」を目指す

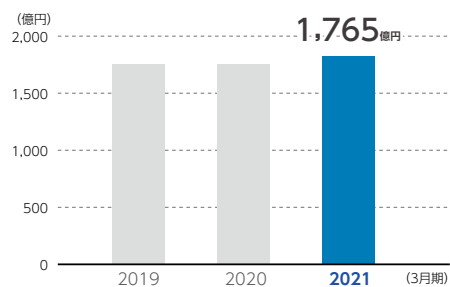
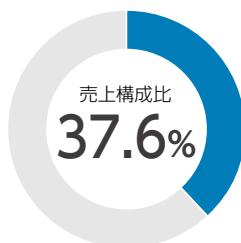


セキュリティ事業

機械警備業務

売上高

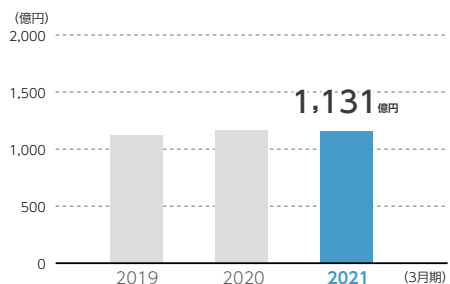
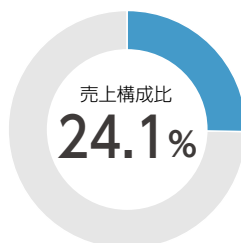
1,765 億円 前期比 0.5%増 ↑



常駐警備業務

売上高

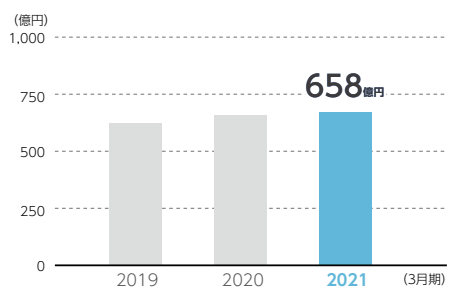
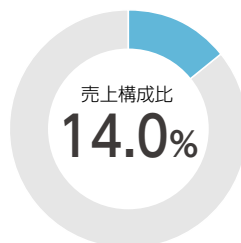
1,131 億円 前期比 3.2%減 ↓



警備輸送業務

売上高

658 億円 前期比 0.4%増 ↑



1年延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部サービス業は、依然厳しい経営状況にあります。業績回復が鮮明な製造業を中心に感染症防止対策を含めた安全・安心ニーズが拡大してきています。今後については、ワクチン接種の拡大、新薬の開発等により個人消費を含めた経済活動正常化への動きが加速されることが期待されます。

このような事業環境の中で当社グループは、国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務である社会の安全・安心に関するサービス(セキュリティサービス事業、総合管理・防災事業、介護・高齢者生活支援事業)を行う事業者として、十分な感染防止策を講じつつ適切にサービス提供を継続していくとともに、リスクが多様化する社会の中で、拡大する安全・安心ニーズに対応すべく、警備ビジネスモデルの変革を推進し、強靱な「総合安全安心サービス業」を目指し、お客様と社会の安全・安心ニーズへの対応能力の強化、デジタル化とデータ活用、社員が活躍できる環境の構築、サステナビリティへの取組強化を行ってまいります。

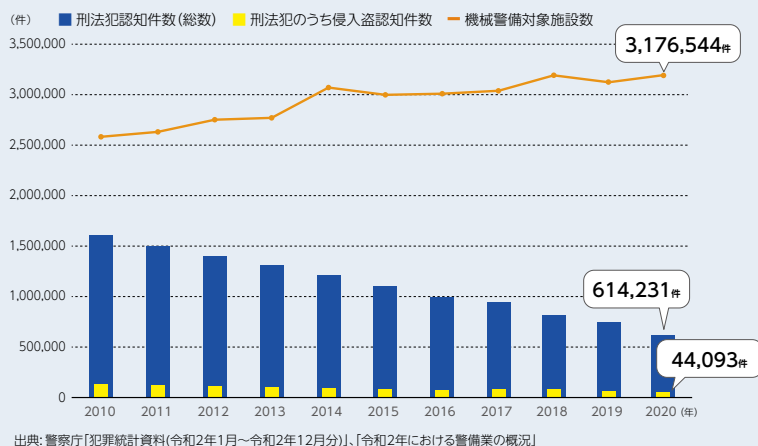
国内警備業の概要(2020年12月末現在)

企業数 **約10,100社**

売上高総額 **約3.5兆円**

警備員数 **約59万人**
(うち女性は3.9万人)

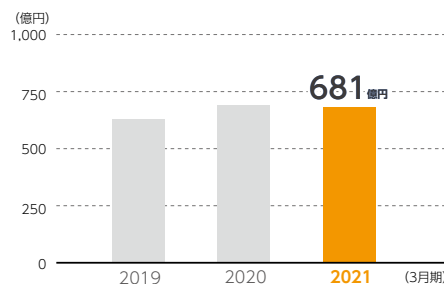
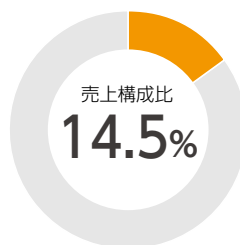
刑法犯認知件数と機械警備対象施設数の推移



総合管理・防災事業

売上高 **681億円**

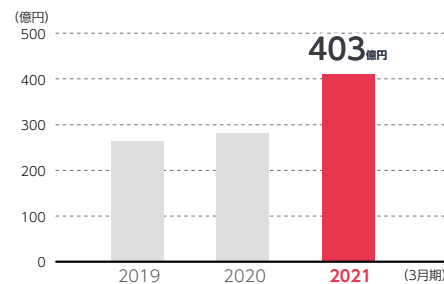
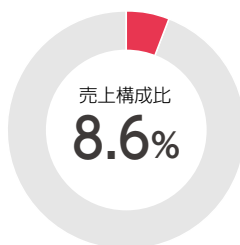
前期比 **1.5%減** ↓



介護事業

売上高 **403億円**

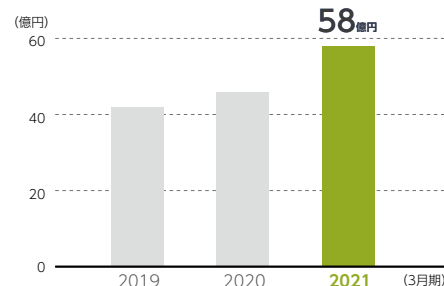
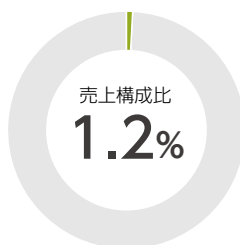
前期比 **43.7%増** ↑



その他事業

売上高 **58億円**

前期比 **26.0%増** ↑



ALSOKの事業概況

セキュリティ事業



機械警備業務

法人向けサービスとして、ライブ画像確認を標準装備した「ALSOK-G7」の販売を推進しています。

コロナ禍において「ALSOK-G7」に二酸化炭素（CO₂）濃度を測定する環境センサーを追加することで、換気扇等を自動制御することも可能な「ALSOK換気促進ソリューション」を提供したほか、密を避けたいという店舗や施設利用者からのニーズの高まりを受けて、カメラ画像を利用することで混雑状況を手軽に施設ホームページやデジタルサイネージへ配信できる「ALSOK混雑状況配信サービス」の販売も開始しました。また、非接触ICカード自体に指紋認証機能を搭載することで感染症拡大防止やカード紛失時の不正利用を防止することが可能となる「ALSOK指紋認証カード」も提供しています。

個人向けサービスとしては、スマートフォンや携帯電話等から警備開始・解除操作を行うことが可能な上、外出時と在宅時それぞれの状況に応じた警備モードを選ぶことが可能な一般住宅向けの「ホームセキュリティBasic」、これら機能に加え、屋外の画像確認機能等を搭載した「HOME ALSOK Premium」、集合住宅向けの「HOME ALSOK アパート・マンションプラン」のほか、ご高齢者向け緊急通報・電話健康相談のサービス機能を付加した「HOME ALSOK みまもりサポート®」や、大切な方の位置情報が確認できる「みまもりタグ」等を提供しています。

現場駆けつけの流れ



常駐警備業務

ご契約先の施設に警備員を配置し、出入管理、巡回、監視、緊急時の対応等を行うほか、国際会議やスポーツ競技、パレード等イベントの警備も実施しています。また、「ALSOKスタッフ等連携システム®」を導入することで、より迅速、効率的なサービスが提供可能です。この他、国内外の著名人、企業の役員の要人警護なども含め、幅広いサービスを提供しています。



警備輸送業務



現金、有価証券等を安全に輸送する現金輸送サービスのほか、店舗売上金管理機能と警備輸送ネットワークでトータルサポートし、働き方改革の推進に資する「入(出)金機オンラインシステム」、金融機関やコンビニエンスストアに設置されたATM等を対象に現金の補充・回収や障害時の対応等、運営・管理をトータルで行っています。また、キャッシュレス進展への対応として、QRコード決済を中心に、1つのアプリ1つの端末で複数の支払いに対応可能な、キャッシュレス決済サービス「ALSOKマルチQR決済ソリューション」を提供しています。

総合管理・防災事業



ホーチキ株式会社、日本ドライケミカル株式会社、日本ファシリオ株式会社、ALSOK双栄株式会社、ALSOK昇日セキュリティサービス株式会社を含むグループ全体で総合管理・防災事業の体制強化を図り、多様化するお客様ニーズに適合した新商品・サービスの共同開発・販売を行っています。

なお、2020年2月28日付にて三菱商事株式会社との間で合意したファシリティマネジメント(以下「FM」)事業に係る資本業務提携に加え、2021年4月1日付にて連結子会社間の合併により発足したALSOKファシリティーズ株式会社を中心に「警備と設備の融合」のコンセプトのもと、国内外におけるFM業務の一層の拡大にも取り組んでいます。

介護事業

介護事業の統一ブランド「ALSOKの介護」のもとで、居宅介護支援(ケアプラン作成)や、ご自宅での生活を支援する訪問介護・訪問看護・デイサービス等の在宅系介護サービスから、特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム)・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、サービス付き高齢者住宅等の施設介護サービスまで幅広いサービスを提供しています。

また、福祉用具の販売・レンタル事業のほか、在宅療養者向けに訪問医療マッサージサービスも提供しています。2020年12月15日付にて三菱商事株式会社および株式会社日本ケアサプライとの間で合意した介護・高齢者生活支援事業に係る資本業務提携により、介護事業者向けサービスや介護サービス利用者・高齢者向け生活支援サービスの一層の拡充に取り組むとともに、その顧客基盤を活用した当社グループの商品・サービスの拡販にも努めています。

 **ALSOKの介護**



その他事業



在宅勤務の普及に伴い、強固なセキュリティ機能を持つテレワークアプリケーションである「ソリトン セキュアデスクトップサービス」および重要性が高まっている情報端末管理のための「ALSOK PCマネジメントサービス」など様々な情報セキュリティソリューションを提供しています。

また、株式会社エムビックらいふにおいて食品衛生法などに基づく腸内細菌検査や食品安全検査、食中毒菌の汚染検査などの各種検査事業を実施しています。加えて、新型コロナウイルス感染症対策をサポートするための商品・サービスを積極的に提供しており、「PCR検査等」の新型コロナウイルス感染症検査や「抗原検査キット」の販売も提供しています。



		主な事業内容	主な商品サービス
セキュリティ事業	機械警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ●オンラインセキュリティ 	<p>■ALSOK-G7 ライブ画像確認を標準装備としたセキュリティシステム (ALSOK換気促進ソリューション、ALSOK混雑状況配信サービス)</p> <p>■ホームセキュリティBasic マンションや戸建などの一般家庭に最適な万能型システム</p> <p>■HOME ALSOK みまもりサポート® ご高齢者向け緊急通報・電話健康相談のサービス機能を付加したシステム</p>
	常駐警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ●ご契約先への警備員配置 ●出入管理 ●巡回 ●監視 ●イベントの警備 ●要人警護 	<p>■施設警備 ご契約先の施設を警備</p> <p>■出入管理システム 出入口に、電気錠を操作できるICカードリーダー等を設置し、出入を管理</p>
	警備輸送業務	<ul style="list-style-type: none"> ●現金・貴重品輸送 ●店舗売上金管理 ●ATMの現金補填・回収・障害対応 ●QRコード決済 	<p>■入(出)金機オンラインシステム 店舗売上金管理機能と警備輸送ネットワークのトータルサポート</p> <p>■ALSOKマルチQR決済ソリューション 1つの端末で複数の支払いに対応可能なキャッシュレス決済サービス</p>
総合管理・防災事業		<ul style="list-style-type: none"> ●各種建物設備の修繕・リニューアル工事・管工事・電気工事 ●防火・防災業務 ●設備管理業務 ●清掃管理業務 ●衛生管理業務 ●電話対応業務 	<p>■ファシリティマネジメント 消防点検をはじめ、電話対応、清掃管理、設備管理、警備業務に至るまで総合的にサポート</p> <p>■AED 販売・レンタル・管理・講習に対応</p> <p>■災害対策・感染症対策用品 エアバスター(オゾン脱臭機)、サーモグラフィ(体表温スクリーニング)の販売、備蓄品マネジメント</p>
介護事業		<ul style="list-style-type: none"> ●居宅介護支援 ●在宅系介護サービス ●施設介護サービス ●福祉用具の販売・レンタル事業 ●訪問医療マッサージ 	<p>■居宅介護支援 ケアプラン作成等</p> <p>■在宅系介護サービス 訪問介護・訪問看護・デイサービス等</p> <p>■施設介護サービス 有料老人ホーム、グループホーム</p> <p>■福祉用具 アルミ製車いす、ウォーキングボール、シルバーカー等の販売</p>
その他事業		<ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ ●各種検査事業 ●警備ロボット ●各種コンサルティングサービス 	<p>■ALSOK PCマネジメントサービス 情報端末を管理</p> <p>■REBORG®-Z 施設を巡回・監視する警備ロボット</p> <p>■ALSOK安否確認サービス 自然災害時の安否確認やウイルス感染拡大期での体調確認ツール</p> <p>■鳥獣わな監視装置Ⅱ 有害鳥獣による農作物等の被害防止を支援</p> <p>■その他 護身術講習、ALSOK塾(ガードマン研修のノウハウを活かしたキャリア教育サービス)</p>



法人向けサービス



機械警備業務

- ・ALSOK-G7
- ・ALSOK換気促進ソリューション
- ・ALSOK混雑状況配信サービス

常駐警備業務

- ・ALSOKスタッフ等連携システム®
- ・自立移動型警備ロボット「REBORG®-Z」
- ・ALSOK交通誘導システム

警備輸送業務

- ・入(出)金機オンラインシステム
- ・ATMアウトソーシング業務
- ・ALSOKマルチQR決済ソリューション

総合管理・防災事業

- ・ファシリティマネジメント
- ・電話対応業務
- ・ビル管理・清掃業務
- ・建物管理・応急処置
- ・AED販売・管理
- ・防災業務・省エネ対策
- ・試験監督サポートサービス

個人向けサービス



ホームセキュリティ

- ・ホームセキュリティBasic
- ・ホームセキュリティBasic専用アプリ
- ・HOME ALSOK Premium
- ・HOME ALSOKみまもりサポート®

目的別サービスプラン

- ・盗聴器・盗撮器探索サービス
- ・まもるつく
- ・HOME ALSOKるすたくサービス
- ・HOME ALSOKレディースサポート®
- ・HOME ALSOKハウスサポート
- ・トビラフォン(迷惑電話自動着信拒否装置)
- ・各種介護サービス

災害・情報漏洩対策



災害対策

- ・BCPソリューション

災害図上訓練、BCP・防災マニュアル策定支援、BCP・防災マニュアル見直し
防災講習会、備蓄品マネジメント支援、水防法対策、防災訓練実施支援

- ・安否確認サービス
- ・備蓄品マネジメント

- ・蓄電システム POWER YIILE 3

情報漏洩対策

- ・情報セキュリティ診断サービス
- ・標的型メール訓練サービス
- ・ネットワーク監視サービス
- ・ログイン認証サービス(ALSOK PCACS)
- ・ホームページ改ざん検知サービス
- ・PCマネジメントサービス

ALSOKの価値創造モデル

お客様と社会の安全安心を支える 強靱な「総合安全安心サービス業」を目指す

ALSOKを 取り巻くリスク

感染症の流行



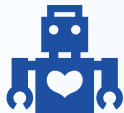
大規模災害等の
発生



人材の確保・
育成



技術環境の
変化



システム開発・
運用



情報管理



レピュテーション
リスク



環境問題



法的規制



経営理念

「ありがとうの心」と
お客様と社会の安全・

強み

人材力

組織力

信頼

P.23-24

事業領域提供
サービス

機械警備業務

P.13

常駐警備業務

P.13

警備輸送業務

P.14

総合管理・防災事業

P.14

介護事業

P.14

その他事業

P.14

E

環境

P.37-38

S

社会

P.39-40

創業以来50余年、高品質なセキュリティサービスを提供し続けてきたALSOKグループは、「人材力」や「組織力」、お客様や社会からの「信頼」が大きな強みです。めまぐるしく変化する内外情勢のなか、お客様と社会の安全安心を「守る」ための新たな価値創造と持続的成長を実現し、すべてのステークホルダーの皆様の期待に応えていきます。

「武士の精神」をもって社業を推進し、
安心の確保のために最善を尽くす。

中期経営計画 (2021～2025年度)

Grand Design 2025

📖 P.19-22

リスクが多様化する社会の中で、拡大する安全・安心ニーズに対応すべく、警備ビジネスモデルの変革を推進し、強靱な「総合安全安心サービス業」を目指す。

- I. 社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化
- II. デジタル化とデータ活用
- III. 社員が活躍できる環境の構築
- IV. サステナビリティへの取組強化

長期目標

強靱な
「総合安全安心
サービス業」
の実現

売上 **1** 兆円

利益 **1,000** 億円

G

ガバナンス

📖 P.41-44

ALSOKの目指す姿

リスクが多様化する社会の中で、拡大する安全・安心ニーズに対応すべく、警備ビジネスモデルの変革を推進し、強靱な「総合安全安心サービス業」を目指す。

基本方針



1 社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化

- 警備・FM業等で培った内外インフラの強化と多様なサービス機能を組み合わせた新たなソリューションの創出
- 新技術を取り入れた迅速な商品・サービス開発



2 デジタル化とデータ活用

- デジタル化 ・顧客とのコミュニケーション強化 ・オペレーションの効率化・省人化 ・デジタル技術等による機能補完
- データ活用 ・収集データの分析 ・外部データ連携



3 社員が活躍できる環境の構築

- 人材多様化・能力開発 ・多様な人材の採用 ・多様な働き方の提供 ・能力開発



4 サステナビリティへの取組強化

- ガバナンスの強化 ■ SDGsへの取組み ■ 環境問題への取組み

財務目標

	実績(2021.3月期)	目標値(2026.3月期)	
連結売上高	4,699億円	6,500億円程度	配当性向30%を目安に 安定配当を維持 将来のグループ規模 売上:1兆円程度 利益:1,000億円程度
連結経常利益	392億円	650億円程度	
連結経常利益率	8.3%	10%以上	
ROE	9.6%	10%以上	

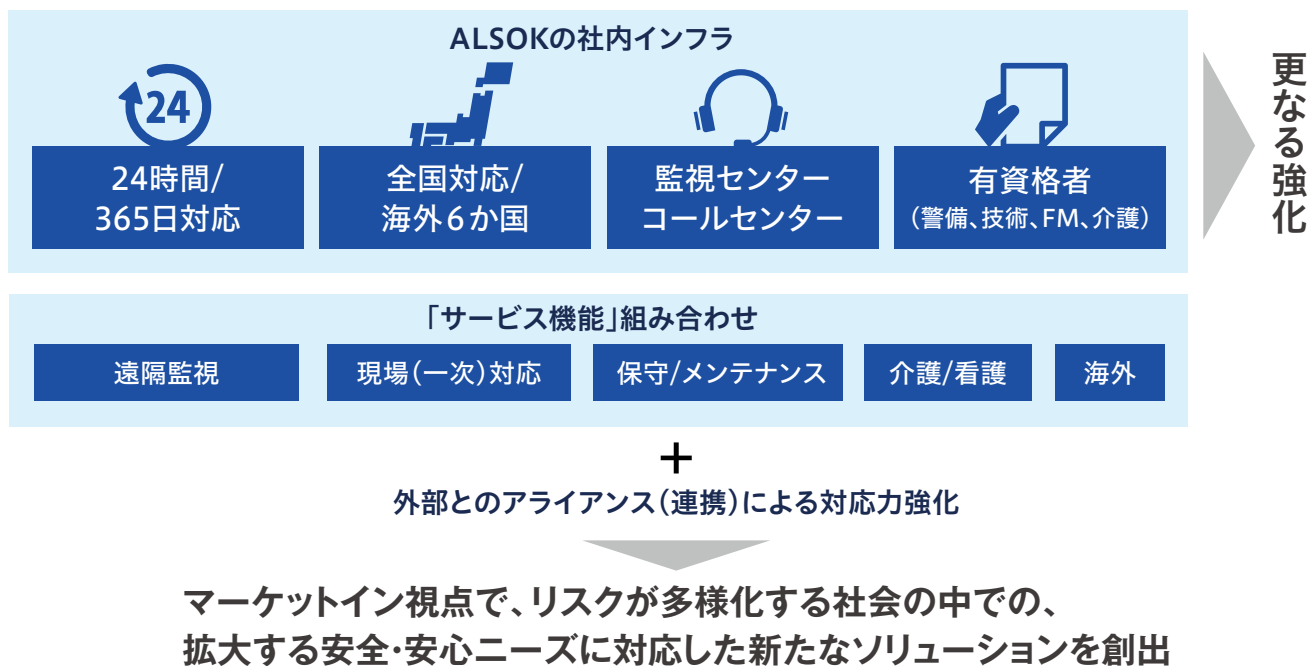
投資計画
(CFベース)

項目	2022.3月期～2026.3月期
研究開発・デジタル関連等投資	700億円
M&A等	500億円
※参考(キャッシュ増加予測) 2022.3月期～2026.3月期におけるキャッシュ増	1,100億円



1 | 社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化

■ 警備・FM業等で培った内外インフラの強化と
多様なサービス機能を組み合わせた新たなソリューションの創出



■ 新技術を取り入れた迅速な商品・サービス開発

開発体制



新技術を取り入れた、商品・サービス開発による差異化・高付加価値化

中期経営計画(2021-2025年度)

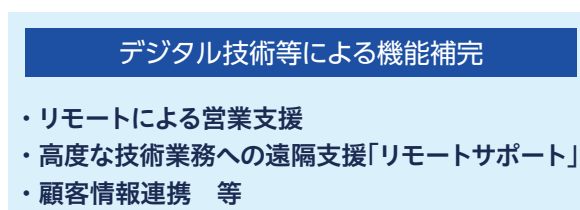
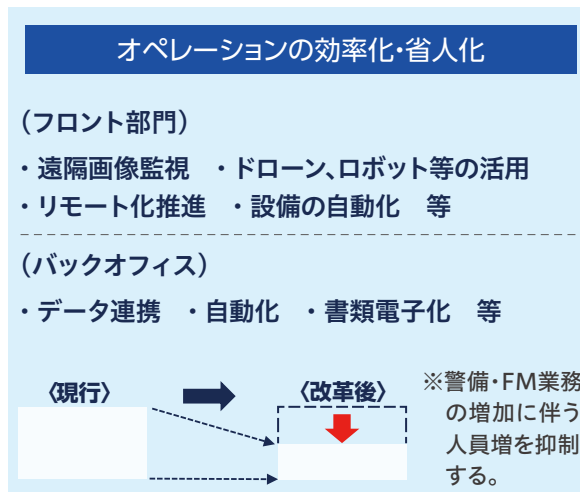
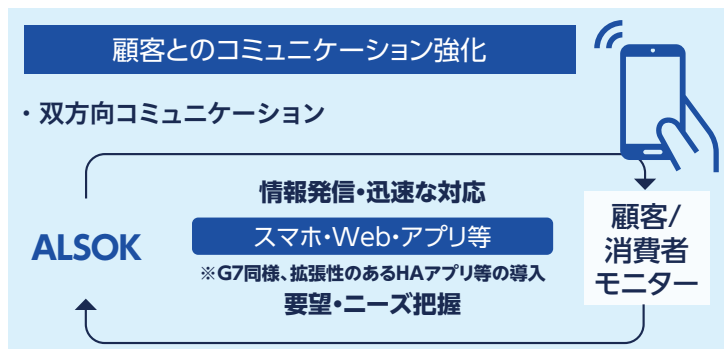
Grand Design 2025

中期経営計画(2021-2025年度)



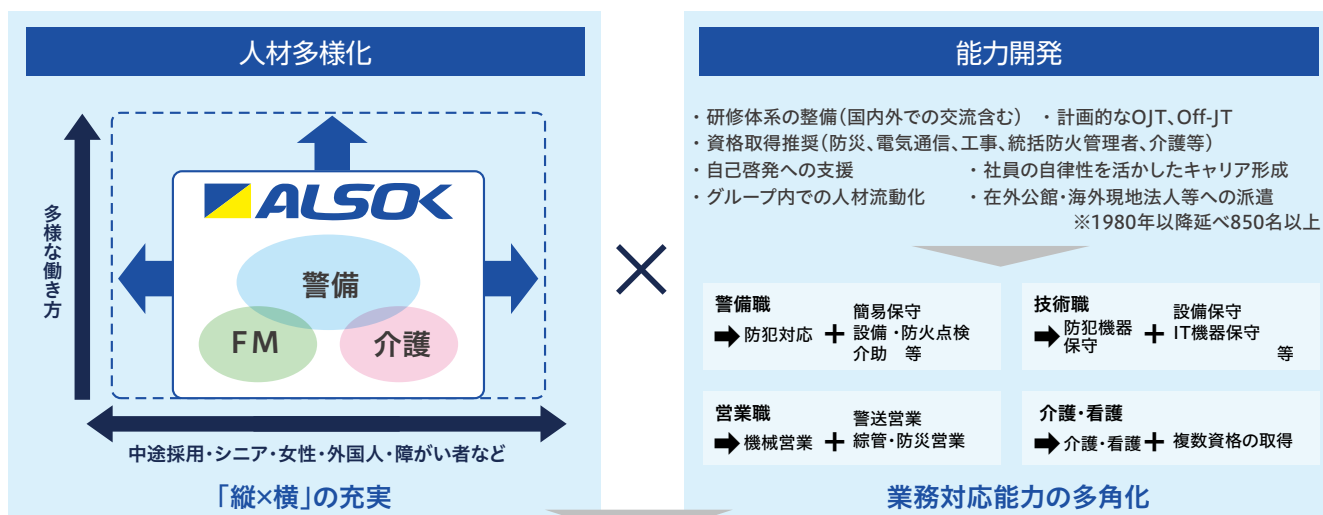
2 | デジタル化とデータ活用

■ デジタル化/データ活用(データ駆動型)



3 | 社員が活躍できる環境の構築

■ 人材多様化・能力開発 ～警備・FM・介護事業を牽引する人材の強化～



個々の働き手が持てる能力を最大限に発揮できる制度、環境を整備し、
エンゲージメントを高めながら、ALSOKの働き方改革を深化

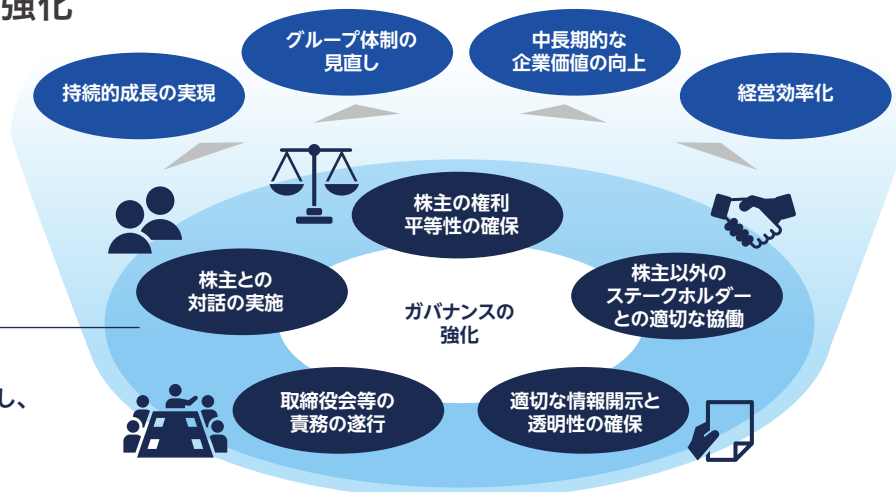


4 | サステナビリティへの取組強化

■ガバナンスの強化

綜警憲章(経営理念)

我が社は、「ありがとうの心」と
「武士の精神」をもって社業を推進し、
お客様と社会の安全・安心の
確保のために最善を尽くす。



■SDGsへの取組み

ALSOKは、創業の精神に基づき、ALSOKの強みである人材力、組織力、信頼ならびにCSRへの取り組みにより、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献します。



■環境問題への取組み

ALSOKは、地球環境問題が人類共通の課題であるとの認識のもと、持続可能な社会の実現に貢献することを目指して環境に配慮した活動を推進していきます。

■具体的取組み

カーボンニュートラルに向けた取組み

- ・CO₂削減に向けた取組強化

環境マネジメント

- ・環境対応に対してステークホルダーからの信頼獲得

循環経済に向けた取組み

- ・循環性の高いビジネスモデルへの転換

社会の課題解決への貢献

- ・新商品・サービスの提供

ALSOKの強み

お客様と社会の安全安心に貢献するALSOKの強みで、
新たな価値創造に取り組んでいきます。



安全安心を 確実とする 組織力

業界トップクラスのネットワークを有することで、社会やお客様に安心感を提供するとともに、非常事態が発生した際には、即座に現場へ駆けつける機動力を発揮しています。

また、警備業のノウハウを活かし、ALSOKグループの介護施設への見守りサービスの提供など、グループ内のシナジーを活かした連携も実現しています。

日本全国の警備拠点数

約 **3,000**カ所

従業員数

38,444人

保有車両台数

10,263台

現場への駆けつけ時間

平均 **16**分

「ありがとう運動」福祉車両寄贈数

累計 **126**台

海外 **6**カ国に展開



TOPICS

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に貢献

当社は、創業のきっかけとなった1964年東京大会の恩返しとすべく、招致段階では協賛スポンサーとして、2013年9月に東京開催が決定してからは、オフィシャルパートナーとして、また、大会警備にあたっては多くの警備員が必要となることから、2018年4月に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会警備共同企業体(警備JV)」を組成し、共同代表としてその任にあたっていました。最終的に、警備JVへ加入した警備会社は全国47都道府県から553社を数え、「オールジャパン」の体制となりました。

当社は、オリンピックスタジアムや選手村等の警備だけでなく、このオリンピック、パラリンピックを目指し、常駐警備の運用効率化のために開発した「ALSOKスタッフ等連携システム®」の導入等、さまざまなシーンにおいて東京2020大会の運営に貢献してまいりました。



社内発隊式の様子

※ALSOKは、東京2020オフィシャルパートナー(セキュリティサービス&プランニング)です。

ALSOKの
強み
2

ALSOKの理念を 具現化する 人材力

人や社会を守ることを価値として提供するALSOKでは、「人」が何より重要な資本となります。そのためには、経営理念にある「ありがとうの心」と「武士の精神」を、実際の行動として実践できる人材の育成が必要です。警備、FM、介護のプロとして、エキスパート人材の育成などにも注力しています。また、より安心してご利用いただけるサービスを提供すべく、駆けつけ業務で緊急時に急行するALSOK隊員の、介助技能を向上させるために設けた社内認定制度「ALSOK介助」を設け、社員の介助技能の習熟を図っています。

警備対策分野の要員として、
海外の日本大使館・領事館などに
派遣された人数

延べ**850人以上**

セキュリティプランナー
累計**739人**

セキュリティコンサルタント
累計**37人**

施工管理技士・
電気工事士
延べ約**1,900名**

消防設備士
延べ約**3,700名**

介護福祉士
約**2,000名**

救急救命講習
修了者数
延べ**20,434人**

武道有段者数
3,551人

女性従業員数
5,465人
(全従業員中14.2%)



ALSOKの
強み
3

行動と実績で 築き上げた 信頼

日本における警備のリーディングカンパニーとしての実績やスキルが評価され、国内外で多くの警備契約をいただいているほか、大規模イベント警備では、多数の実績を有しています。また、地域や社会からも信頼していただける企業であるために、サステナビリティ・ESGの取り組みも積極的に行っています。



機械警備契約件数

約**990,000件**

(法人:約540,000件・個人:約450,000件※)

※集合住宅における対象戸数を含めると約124万戸

年間現金取扱量

約**469兆円**

「ALSOKあんしん教室®」実施回数

累計**52,161回**

AED累計販売台数

約**210,200台**

入(出)金機オンラインシステム

約**26,500台**

外部機関
からの評価

・くるみん
・えるぼし
・FTSE4Good
・FTSE Blossom Japan
・MSCI
ESG セレクト・リーダーズ指数